

令和5年度 事業計画

一般財団法人 津山慈風会

目 次

令和5年度 一般財団法人津山慈風会 事業計画（概要）	1
中期経営計画および令和5年度事業計画 一般財団法人 津山慈風会	7
中期経営計画および令和5年度事業計画 津山中央病院	9
令和5年度事業計画 津山中央記念病院	22
令和5年度事業計画 津山中央クリニック	24
令和5年度事業計画 津山中央看護専門学校	25
令和5年度事業計画 津山訪問看護ステーション	26
令和5年度事業計画 津山中央居宅支援事業所	27
令和5年度事業計画 アーバンライフ二階町	28
令和5年度事業計画 ナイスデイ二階町	29
令和5年度事業計画 フィットネス&スパ CARVATA	30
令和5年度事業計画 法人本部	33

令和5年度 一般財団法人津山慈風会 事業計画（概要）

今年度は昭和28年に法人が誕生し70年、昭和29年に津山中央病院を開設して69年、平成9年に国立療養所津山病院の経営移譲を受けて26年を迎えることとなります。さて昨今の医療・福祉を取り巻く環境を鑑みますと、団塊の世代が後期高齢者になる2025年がいよいよ目前となり、岡山県北地域ではますます高齢化が進み、患者構成、疾病構成が大きく変わってきております。また食材やエネルギー等の諸物価の高騰など、医療を取り巻く環境は厳しさを増しています。このような環境下で今年はいよいよwithコロナ時代、コロナ後を見据えた事業を展開することとなります。

まず新型コロナウイルス感染症対策については、引き続き同感染症の重点医療施設である津山中央病院を中心に岡山県北における対策を実施し、地域住民の安心と安全を守るセーフティネットの役割を果たして参ります。また5類移行、院内感染対策、パンデミック以降の受診動向の変化など、さまざまな対応も求められます。

続いてマンパワーの確保が大きな課題です。近年は看護師不足と新型コロナウイルス感染症患者の入院病床確保のため、たいへん難しい病床運営となっております。今年度は必要な人材を確保し、緩和ケア病棟14床を開設することを重点課題としております。また、限られた数での病床運営となりますので、これまで以上に地域連携を推進したり、病棟機能を向上して、在院日数を短縮することも重要な課題となります。地域の医療ニーズに応えるため、在院日数の適正化に津山中央病院グループ全職種をあげて対応します。

関連して「働き方改革」についてですが、いよいよ令和6年に医師の勤務時間の規制が始まります。津山中央病院はA水準の実現に向けて体制を整えていきます。適正な労働時間遵守、チーム医療によるタスクシフト・タスクシェア、DX（Digital Transformation）や業務改善による労働生産性の向上に努めます。

基本方針に掲げる重点項目の取り組みにも引き続き注力します。

「お断りしない救急」については、「救命救急センターの整備に向けて」を一昨年度から重点目標の1つ（2ページ）に掲げました。救急医、看護師などのマンパワー確保が課題となります。

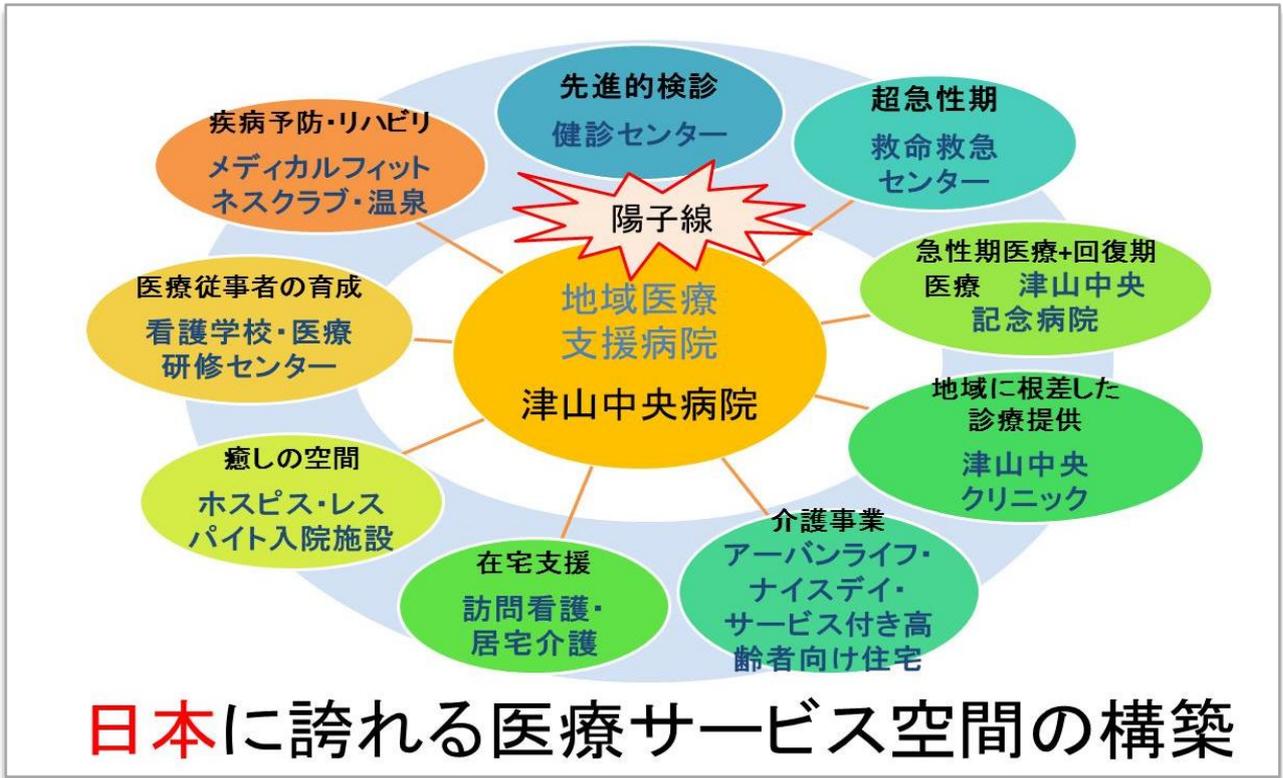
「最先端医療の提供」のため、POWER UP 5で完成した施設についての運用面での充実が課題となります。特に陽子線治療、集中治療室、手術支援ロボット「ダヴィンチ」などを擁する高規格手術室について症例数の拡大に努めます。導入から4年経った手術支援ロボットの運用は安定しており、これまで前立腺、腎臓、肺、消化器に領域広げております。今後もそれぞれの領域の症例数拡大を図ります。

この他に地域ぐるみで医療を支えるための連携登録医とのアライアンス強化、回復期・介護・在宅分野の充実（主に二階町のグループ事業所）、一昨年に新たにグループに加わった近藤病院との連携、健診事業および健康増進事業の拡充、医療インバウンドの拡充、臨床研修医や看護師（看護学校）など医療従事者の育成、といった事業を展開してまいります。そしてそのために必要な経営基盤の強化も同時に行ってまいります。

津山中央病院本館が竣工してから20年が経過し、老朽化した設備の更新工事を行う時期となっております。昨年より工事を開始した周産期センターは今年竣工予定となりました。3階から6階病棟の改修工事は今年から数年かけて行い、許可病床数は現在の医療ニーズに合わせてダウンサイジングする予定です。旧病理検査室、旧中央材料室の跡地利用などについても検討を進めます。記念病院の増築工事も今年度から来年度にかけて行います。老朽化したクリニックの機能継承と記念病院の機能拡充が目的です。

今年度は中期3ヵ年計画の1年目として、事業を展開していくこととなります。より具体的な令和5年度の事業計画は以下の通りです。

中 長 期 ビ ジ ョ ン



今 年 度 重 点 目 標

テーマ	計画年度						
	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
I A水準実現のために							
II 看護部へのサポート体制の構築							
III 救命救急センターの整備に向けて							
IV 5類移行に伴う病院の対応							
V 適正な入院期間を目指して ～転院促進・入院期間Ⅱ～							
VI グループ病院との連携強化							
VII DXと業務改善 (デジタルトランスフォーメーション)							
※予							
ハラスメント撲滅を目指して							
コロナ時代への対応							

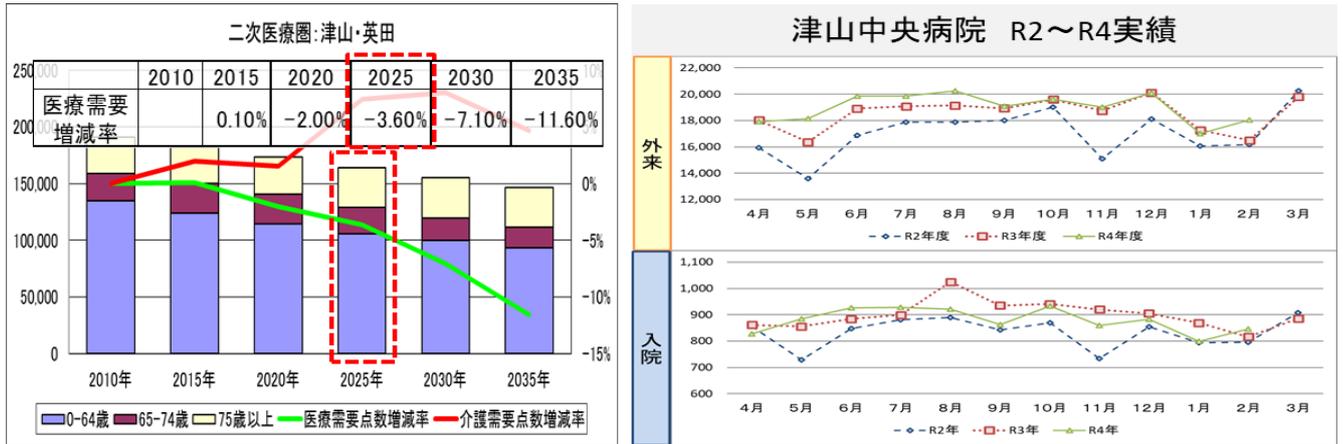
令和5年度 各事業所の事業計画（概要）

1 津山中央病院	○岡山県北における新型コロナウイルス対策の中心的な役割を担う (新型コロナウイルス感染症重点医療機関)	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>5類感染症への移行についての対応</u> ・ 入院患者受入れ体制、院内感染防止体制、PCRなど検査体制、ワクチン接種の体制、マスクなどの防護具確保など診療体制の充実 ・ 行政、医師会、各種団体との連携、市民啓発など地域をリードする役割を果たす ・ パンデミックによる患者構成、疾病構成、受療動向の変化に対する対応
	○「お断りしない救急」「高度医療の提供」のための機能充実	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>救命救急センターの整備 ※救急医師等のスタッフ確保、ER Day 拡充、Dr. カー拡充など</u> ・ <u>ゲノム連携病院指定の準備、がん拠点病院未充足事項の充実、緩和ケア外来および病棟の体制再整備など</u>
	○がん陽子線治療センターの機能拡充	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保険適用領域（前立腺がん等）および先進医療の領域について症例数増加 ※1 保険収載：小児がん、前立腺がん、頭頸部悪性腫瘍、骨軟部腫瘍 ※2 2022年 新規保険収載：肝細胞癌、肝内胆管癌、局所進行肺癌、大腸癌術後局所再発
	○手術室の効率的な運用	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和元年に竣工した4つのOP室および2つの血管造影室の効率的な運用 ・ 手術支援ロボット「ダヴィンチ」の安定した運用および症例の適用拡大 ・ <u>ハイブリッドOR（経カテーテル的大動脈弁植え込み術）の運用安定と症例数拡大</u>
	○病棟の安定稼働	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>緩和ケア病棟14床の開設</u> ・ 集中治療室の増床の検討、許可病床数のダウンサイジング ・ 一部病床の運用制限をした状態での安定した患者受入（看護師不足と新型コロナウイルス対応） ・ DPC入院期間Ⅱ以内の退院割合の向上（全体で70%を目指す）と転院促進
	○地域連携の推進（連携登録医、介護・在宅、津山中央病院グループ施設との連携）	
	○働き方改革および働きやすい環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・ 医師の長時間労働対策など働き方改革の推進（<u>A水準の実現</u>） ・ 看護業務のタスクシフト、タスクシェアの推進 ・ 業務の効率化の推進（ICT・AI、業務改善）
○DPC特定病院群の指定維持		
2 津山中央記念病院	○一般病棟の安定稼働	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>施設基準10:1の維持</u> ・ <u>新規入院患者の獲得</u>
	○地域包括ケア病床の拡充	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>在宅からの入院強化</u> ・ 増床の検討
	○療養病棟の安定稼働	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>看護師、アシスタントⅡの確保</u> ・ 安定稼働を目指しさらなる充実を図る
	○透析センターの充実	<ul style="list-style-type: none"> ・ 看護師・MEを確保し慢性医療の充実を図る
	○新型コロナウイルス対策	<ul style="list-style-type: none"> ・ 透析患者受入れ体制、院内感染防止体制、ワクチン接種体制などの充実
	○津山中央病院、近藤病院との連携強化およびそのための機能向上	
	○介護・在宅との連携強化	
	○働き方改革および働きやすい環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>医師の当直体制の見直し</u> ・ 常勤医師の増員 ・ 看護師の確保と負担軽減のための対応推進 ・ 業務の効率化の推進
○ <u>クリニックとの機能統合の準備</u>		
3 津山中央クリニック	○津山中央病院との連携強化およびそのための機能向上	
	○診療機能の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・ 外来患者の増
	○働き方改革および働きやすい環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・ 医師の長時間労働対策など働き方改革の推進 ・ 看護師の確保と負担軽減のための対応推進 ・ 業務の効率化の推進
	○新型コロナウイルス対策	<ul style="list-style-type: none"> ・ 院内感染防止対策
	○ <u>記念病院との機能統合の準備</u>	

訪問看護 ステーション	4 津山中央	○機能の充実	・スタッフの充実とスキルアップ ・医療対応のスキルの高さを生かし、医療的ケア児、ターミナルケア、難病、人工呼吸、在宅酸素、腹膜透析、人工肛門の対応件数を増加、 <u>看護体制強化加算を維持、機能強化型訪問看護ステーション加算算定を取得</u>
		○働き方改革	・看護師の確保と負担軽減のための対応推進 ・業務の効率化の推進 ・ハラスメント撲滅を目指す
		○津山中央病院との連携強化	
		○地域の在宅医療・在宅介護との連携強化	
居宅介護 支援事業所	5 津山中央	○利用者数の維持	・質の高いケアマネジメントの実践
		○働き方改革	・業務の効率化の推進 ・ハラスメント撲滅を目指す
		○津山中央病院との連携強化およびそのための機能向上	
		○津山中央病院グループと地域の在宅医療・在宅介護との連携強化	
看護専門学校	6 津山中央	○地域医療の充実に貢献する優秀な看護師の育成	・ <u>臨床現場の先端機器に対応できる看護師の育成</u>
		○優秀な志願者の確保	・地元高校生とその保護者へ本校の強み発信 ・中学生へ看護の魅力発信
		○豊かな人間性を備え、主体的に行動できる学生の育成	
		○国家試験全員合格	
		○業務の見直しと効率化	・教職員の多忙化の軽減に取り組み、学生と向き合う時間を確保する ・例年通りではなく、新しいことへ挑戦する気持ちを持ち続ける
7 有料老人ホーム アーバンライフ二階町	○ <u>契約者の維持（アバンライフ29名、ナイスデイ23名）及び平均介護度2.8の達成</u>		
	○ <u>利用者満足のために、地域ナンバーワンのサービス提供を目指す</u>		
8 小規模多機能施設 ナイスデイ二階町	○働き方改革	・ <u>業務の効率化のためオペレーションの見直しを図る</u> ・ハラスメント撲滅を目指す	
	○津山中央病院との連携強化およびそのための機能向上		
	○津山中央病院グループと地域の在宅医療・在宅介護との連携強化		
カルヴァータ フィットネス&スパ	9	○会員数増とサービスの充実に努め、健康増進に寄与する	・スタッフの教育強化、サービスの質向上
		○働き方改革	・業務の効率化の推進 ・年次有休休暇の計画的利用促進
		○津山中央病院との連携強化 およびそのための機能向上	・運動療法の運用開始
		○新型コロナウイルス対策	・業種別対応マニュアルに加えて、病院の感染対策方針を遵守する

参考

【患者数、医療ニーズの分析】



【津山中央病院 再整備事業 POWER UP 5 (令和元年竣工)】



【新型コロナウイルス対応】



【津山中央病院グループ概要】

高度急性期



津山中央病院
救命救急センター

がん陽子線治療センター



救命救急センター

人材育成



医療研修センター



看護専門学校

津山中央病院グループ



健康管理センター



フィットネス&スパ カルヴァータ

健診・健康増進

津山中央記念病院



訪問看護ステーション
居宅介護支援事業所



津山中央
クリニック



敬和会
近藤病院



老人保健施設・訪問看護・居宅介護

急性期・地域包括ケア

アーバンライフ・ナイスデイ



回復期

介護・在宅

【数字で見る津山中央病院グループ】

数字で見る津山中央病院グループ 2022年度

<p style="text-align: center;">一般財団法人 津山慈風会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設立 昭和28年10月 ・事業所数 9事業所 ・職員数 1,250人R4.4.1時点 <li style="padding-left: 20px;">内 医師 142人 <li style="padding-left: 20px;">内 看護師 582人 <li style="padding-left: 20px;">内 薬剤師 30人 	<p style="text-align: center;">津山中央病院</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病床数 515床 ・標榜診療科 30診療科 ・入院患者数 134,283人 ・外来患者数 229,534人 ・救急車数 5,075台 ・手術件数 4,704人 	<p style="text-align: center;">フィットネス&スパ カルヴァータ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内視鏡件数 12,256件 ・地域医療支援病院 救命救急センター ・地域がん診療拠点病院 ・医師臨床研修指定病院 ・DPC特定病院群
	<p style="text-align: center;">津山中央健康管理センター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受診者数 11,232人 	<p style="text-align: center;">フィットネス&スパ カルヴァータ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・契約者数 507人※R4年度末
<p style="text-align: center;">津山中央記念病院</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病床数 81床 ・標榜診療科 2診療科 ・入院患者数 20,936人/年 ・外来患者数 48,527人/年 ・透析患者数 22,487人/年 	<p style="text-align: center;">アーバンライフ二階町 ナイスデイ二階町</p> <ul style="list-style-type: none"> ・居室数 29室※全室個室 ・通い 3,789人 ・訪問 448人 ・宿泊 2,147人 	<p style="text-align: center;">津山中央看護専門学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・卒業者数 34人 ・国家試験合格率 100%
<p style="text-align: center;">津山中央クリニック</p> <ul style="list-style-type: none"> ・標榜診療科 3診療科 ・外来患者数 11,125人/年 	<p style="text-align: center;">津山中央訪問看護ステーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間訪問数 3,496件 ・看護体制強化加算 ・機能強化型訪問看護ステーション加算 	<p style="text-align: center;">医療法人敬和会 近藤病院</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病床数 55床 ・標榜診療科 14診療科 ・救急告示指定 ・併設 老健、訪問看護、居宅支援

中期経営計画および令和5年度事業計画 一般財団法人 津山慈風会

目 次

中期経営計画の策定について

津山慈風会の理念

基本方針

基本方針に基づく中期経営計画骨子

令和5年度事業計画の策定について

津山慈風会は丸70年を迎え、津山中央病院が誕生し丸69年を迎えます。

平成27年度のがん陽子線治療センターを皮切りに、平成29年度に出来た新病棟（N館）、そして令和元年度に拡張工事が完了した手術センターなどを活用し、地域の皆さんに高度医療を提供できるよう努めます。令和2年から新型コロナウイルスのパンデミックが起き、医療を取り巻く環境が一変しましたが、当財団は新しい令和の時代にふさわしい医療サービス空間をつくるため、ますます精進して参ります。

理事長

津山慈風会の経営理念

作成：平成13年 8月14日

改定：平成24年 1月12日（第2版）

直近見直：令和 5年 4月 1日

理念

「私たち津山慈風会は地域の皆さんにやさしく寄り添います」

基本方針

1. 顧客の人権を尊重した、顧客第一主義の医療、保健、福祉を实践する。
2. 先進機器、先進技術の情報を収集し、計画的な導入を進める。
3. 職員倫理や技術、安全に対する教育・研修を継続的に行う。
4. 地域医療、保健、福祉の連携システムを構築する。
5. 地域高齢者福祉に貢献するために介護・福祉事業を展開する。
6. 地域の健康づくりに貢献するための事業を展開する。
7. 地域医療に貢献する人材を育成する。
8. 医療、保健、福祉を担う各施設の運営の適正化及び業務の効率化を図る。
9. 法令・社会規範を遵守し、内部統制の充実を図る。
10. 健全経営を維持するために経営管理、施設運営管理を強化する。

基本方針に基づく中期経営計画骨子（令和5～7年）

1. 顧客の人権を尊重した、顧客第一主義の保健、医療、福祉を実践する
 - ①顧客の立場にたった医療、看護、介護を提供する 5～7年
 - ②顧客の権利とプライバシーを遵守する 5～7年
2. 先進機器、先進技術の情報を収集し、計画的な導入を進める
 - ①ハイブリッド手術室 適用の拡大 5～7年
 - ②手術支援ロボット 前立腺がん手術の施設基準維持、その他の領域の適用拡大 5～7年
3. 教育・研修を継続的に行う
 - ①職員倫理に対する教育・研修を継続的に行う 5～7年
 - ②技術習得のための教育・研修を継続的に行う 5～7年
 - ③医療安全、感染対策、医療倫理に対する教育・研修を継続的に行う 5～7年
4. 地域医療、保健、福祉の連携システムを構築する
 - ①地域のネットワークを構築する 5～7年
 - ②医療連携による地域完結のしくみを推進する 5～7年
5. 地域高齢者福祉に貢献するために介護事業を展開する
 - ①在宅介護事業を推進する 5～7年
 - ②介護事業の領域を拡大する 5～7年
6. 地域の健康づくりに貢献するための事業を展開する
 - ①健診事業の充実を図る 5～7年
 - ②健康増進施設を充実させる 5～7年
7. 地域医療に貢献する人材を育成する
 - ①看護教育・卒後研修を充実し、人材の地域定着を図る 5～7年
 - ②医師臨床研修を充実する 5～7年
 - ③地域医療従事者への教育環境を充実する 5～7年
8. 医療、保健、福祉を担う各施設の運営の適正化を図る
 - ①地域基幹病院の機能を充実する 5～7年
 - ②各施設に求められる機能を充実する 5～7年
9. 法令・社会規範を遵守し、内部統制の充実を図る
 - ①法令遵守の監視体制を推進する 5～7年
 - ②働き方改革を推進する 5～7年
10. 健全経営を維持するために経営管理、施設運営管理を強化する
 - ①急性期医療におけるコスト管理を強化する 5～7年
 - ②経営統計資料を整備し、分析・活用を図る 5～7年
 - ③医療インバウンドを推進する 5～7年
 - ④人材確保のための福利厚生、働きやすい環境を整備する 5～7年

中期経営計画および令和5年度事業計画

津山中央病院

目 次

1. 津山中央病院の理念、基本方針、行動規範、患者の権利と責任
2. 基本方針の具体的内容
3. 基本方針に基づく中期経営計画（令和5～7年度）
4. 令和5年度事業計画

1. 津山中央病院の理念、基本方針、行動規範

作成：平成13年 8月14日
改定：令和 5年 4月 1日 (第3版)
直近見直：令和 5年 4月 1日

理念

「私たち津山慈風会は地域の皆さんにやさしく寄り添います」

基本方針

- お断りしない救急診療に努める
- 最先端の医療を提供する
- 地域医療機関との連携を強化する
- 地域に貢献する活動を推進する
- 教育、人材育成に傾注する
- **持続可能**で健全な経営に努める (SDGs)

行動規範

私たちは、患者の満足、地域の満足、職員の満足を追求します

1. 患者満足：患者の人権を尊重し、医療の質を高め納得と同意に基づく医療を提供します
2. 地域満足：地域医療支援病院として、密な連携を図り、地域医療・福祉に貢献します
3. 職員満足：高い志を持って医療現場に臨み、日々業務を見直し、リスク管理のできる医療のプロとして研鑽とチャレンジを惜しみません

患者の権利と責任

当院では患者を尊重し、患者と当院の信頼関係を深めよりよい治療を行うために次に掲げる患者の権利と責任を宣言します。

患者の権利

- ① 人格を尊重した良質で最適な医療・看護を継続して平等に受ける権利
- ② 担当医師から診断・治療・予後について納得できるまで十分な説明を受ける権利
- ③ 担当医師から治療に入る前に、治療方針等について十分理解したうえで同意、或いは選択するのに必要な情報を得る権利
- ④ 必要な情報を得た上で、治療方針を自ら決める権利
- ⑤ 治療に関するすべてのコミュニケーション、記録等の個人情報およびプライバシー情報が極秘扱われる権利
- ⑥ 医療費の請求内容を確認したり、内容についての説明を受ける権利
- ⑦ セカンドオピニオンが保障される権利
- ⑧ 定められた手順に従って、自己の診療記録の開示を受ける権利

患者の責任

1. 昔かかった病気、入院や内服薬を含めて自身の健康状態について情報を提供する責任
2. 治療を継続して受けることが出来ないと考えたときには担当医に告げる責任
3. 保険に関する情報を提供する責任
4. 医療費を速やかに支払う責任
5. 病院が決めた規則・ルールを守る義務

基本方針の具体的内容

1. お断りしない救急診療に努める

- ・ 救急受診重症患者あるいは地域医療機関よりの紹介患者に対して、迅速かつ適正な入院管理体制の構築に努める。
- ・ 救命救急センターの役割を全うする。
- ・ 救急医療は地域住民への安心の提供と、信頼される地域医療連携の基盤をなすものとする。

2. 最先端の医療を提供する

- ・ 常に医療の質向上に努力する。
- ・ 各分野ごとに最先端の医療を提供できるよう、人材の確保と育成に努める。
- ・ 医療実績は、国内はもとより海外にも積極的に情報を発信し、評価していただく。
- ・ 医療の質向上のために必要とする適正な投資を継続的に行い、職員の意欲向上にも寄与する。

3. 地域医療機関との連携を強化する

- ・ 地域連携の必要性・重要性を職員一同共有する。
- ・ 「自己完結型」医療から、「地域完結型」医療の中心的存在として貢献する。
- ・ 地域医療支援病院を中心とする津山慈風会グループとしての自覚を持ち、地域の医療、福祉関係者と密に連携をとる。
- ・ 岡山県北地域の医療の質向上と患者さんのQOL向上のため円滑な医療連携を図る。

4. 地域に対する啓発活動を推進する

- ・ 地域へ保健、医療、福祉についての啓発活動を行う
- ・ 津山慈風会の事業への理解を深めていただき、信頼と親近感を持てる病院をめざした、種々の活動に取り組む

5. 教育、人材育成に傾注する

- ・ 「人は城、人は石垣、人は堀」を踏まえ、病院、地域を支えるのは慈風会職員そのものであるとの認識を共有する。
- ・ 職員のキャリアアップのための研鑽や教育を積極的に行う。
- ・ 女性医師支援、子育て職員支援に積極的に取り組む。
- ・ 地域に貢献する看護師育成のため、津山中央看護専門学校の充実を図る。

6. 持続可能で健全な経営に努める (SDGs)

- ・ 営利を目的とするものではない。
- ・ 患者、地域あるいは職員育成のために 必要な投資を行うと同時に、健全な経営に努める。

基本方針を達成するために

- ・ 職員全員が参加する、発言する風土を作る。
当然、発言には責任を持つ。(参加する委員会、ワーキンググループなどでは必ず発言する)
- ・ 管理職は、よい慣習はよりよくし、悪い慣習は打破する勇気を持ち、臭いものにふたをしない努力を続ける。そして、その情報は管理職間で共有する。(「三人よれば文殊の知恵」)
- ・ 何か気づいたこと、こうすればよくなるぞという提案を歓迎する。
この提案は、もちろん具体的解決策を持たなければいけない。
(「津山慈風会伝書鳩」と名付ける。「林」宛て、優秀な提案は忘年会で表彰)

2. 基本方針に基づく中期経営計画（5～7年度）

I お断りしない救急

事業	行動計画	
救命救急センター	・重症患者、紹介患者の迅速かつ適正な入院管理体制の 充実 ※ JOPD 入力体制 (SICU R5.6 目標、ICU 検討)	5～7年度
	・ER構想の進捗	5～7年度
	・ER Dayの拡充 ・救急外来でのタクシエ（救急救命士、事務、コメディカル） ・ドクターカー運用の拡充	
	・集中治療ユニットの増床の検討（HCU 4床 or SICU 2床 or 一般病床）	5～7年度
	・スタッフ確保（救急医確保、救命士、看護師、認定看護師など）	5～7年度
小児救急拠点病院	・小児救急外来の体制維持	5～7年度
周産期母子医療センター	・NICU機能の充実（体制整備と改築工事）	5年度
	・周産期外来の体制充実	5～7年度
※災害拠点	※IV地域貢献に記載	
※外来機能・病棟機能の充実	※II最先端医療に記載	

II 最先端医療

事業	行動計画		
がん拠点病院	・がん拠点病院としての体制を整える（手術、化学療法、放射線治療、がん登録、緩和ケア）	5～7年度	
	・ゲノム医療連携病院の指定を目指す	5～7年度	
	・ がん登録の精度向上	5～7年度	
放射線治療センター	陽子線治療	5～7年度	
	・保険適用疾患および先進医療の適用疾患の症例数増加		
	・医療物理士の採用		
	・医療インバウンドの症例数増加		
	・JIHの指定の維持		
定位照射	・IMRT（X線）治療の適用症例の拡大	5～7年度	
手術センター	・令和元年度に竣工した4つのOP室についての効率的な運用	5～7年度	
	・ハイブリッドORの安定した運用および適用拡大（TAVIなど）	5～7年度	
	・手術支援ロボット「ダヴィンチ」の安定した運用および適用拡大	5～7年度	
	・外来手術推進（白内障、ポリペク、慢性硬膜下血腫、抜釘等）	5～7年度	
	・令和元年度に竣工した血管造影室（2部屋）についての効率的な運用	5～7年度	
血管治療（心臓血管CN・脳卒中CN）	・新規に導入した手技の安定した運用（インペラ、FFRct、NOガス）	5～7年度	
	・実施件数の増加	5～7年度	
リハビリテーションセンター	・365日リハ検討	5～7年度	
地域完結	・DPC特定病院群の維持	5年度	
	・県南に流出している疾患の実績増加	5～7年度	
外来機能の充実	・専門外来の充実	5～7年度	
	・常勤医師の確保（眼科、乳腺外科など） ・ 緩和ケア外来の開設		
	※連携登録医、グループ施設の連携促進→※III地域連携に記載	5～7年度	
病棟機能の充実	・DPC入院期間II以内の退院割合の向上（70%を目指す）	5～7年度	
	・記念病院との連携（ヘパリン化入院、整形外科など）	5～7年度	
	・RRSの安定した運用	5～7年度	
	・感染制御の体制維持（医療スタッフの手技、PPE確保、 5類移行への対応 ）	5～7年度	
	・ 緩和ケア病棟14床の開設	5年度	
	・ 許可病床のダウンサイジングの検討	5～7年度	
	※看護師の増員・育成 → ※V人材育成に記載	5～7年度	
チーム医療	・各チームの活動件数増加	5～7年度	
	・各チームの体制充実	5～7年度	
	※NST、認知症ケア、緩和ケア、入退院支援、ICT・AST、輸血cn、助産師外来、PST、栄養指導、口腔ケア、メディエーター※4年度新設など		
	・ 特定行為看護師	・ 認知症（R4年1名取得） 手順書作製・運用開始	5年度
	・ タスクシエ	・ 周術期の資格取得 ・ 看護業務のタスクシエを全職種で拡充する （採血 対応できる検査技師の拡充など）	5～7年度 5～6年度

Ⅲ地域連携

事業	行動計画	
地域医療支援病院	・連携登録医、グループ施設の連携促進	5～7年度
	・地域連携クリパス稼働件数増加（脳卒中、がん、大腿骨頸部骨折）	5～7年度
	・地連パス会議、CCセミナーの開催（Webの活用）	5～7年度

Ⅳ地域貢献

事業	行動計画	
災害拠点	・体制整備と訓練実施	5～7年度
	・DMAT派遣体制の確保	5～7年度
へき地拠点	・へき地拠点病院、診療所への医師派遣および代診医派遣	5～7年度
感染症	・第二種感染症指定病院（新型インフル・結核）としての患者受入れ	5～7年度
	・新型コロナ 対策	5年度
	・岡山県北の重点医療機関としての役割（重症患者受入、5類対応） ・ワクチン接種の実施、流通の基本型病院、副反応対応	5年度
	・地域の拠点としての体制確保（感染対策向上加算1など）	5～7年度
健診事業	・受入れ実績の増加	5～7年度
	・オプション検査、プレミアムドッグの件数増加	5～7年度
医療インバウンド	・陽子線治療実績の増加	5～7年度
	・陽子線以外の治療実績の増加（乾癬、糖尿病など）	5～7年度
	・スーパードッグの件数増加	5～7年度
第二種社会福祉事業	・減免、無料相談等	5～7年度
※地域完結	※最先端医療に記載	5～7年度

Ⅴ人材育成

事業	行動計画	
職員確保 「職員に選ばれる病院」	・医師 内科、外科、麻酔科、心臓血管外科、ER、 精神科 など	5～7年度
	・研修医 マッチング10割	5～7年度
	・看護師増員 ※ 病床拡充、看護師夜間配置加算の維持、看護師負担軽減	5～7年度
	・医療アシスタント増員 ※ 急性期看護補助加算の維持	5～7年度
※看護学校（※連携協力）	※看護学校に記載	5～7年度
研修	・研修会（医療安全、感染対策、医療倫理、 個人情報、ハラスメント対策 など）の実施	5～7年度
	・実習受入れ（医師、看護師、コメディカル）	5～7年度
	・インターンシップ、見学受入れ（小学生、中学生、大学生、社会人、各種団体）	5～7年度
働き方改革	・長時間労働対策	5～7年度
	・医師 A水準を目指す 手術処置夜間休日加算の適応拡大（現在は脳外、外科）	5～7年度
	・看護師 前残業削減、配茶の検討	5～7年度
	・業務改善プロジェクト（ 前3カ年でコメディカル終了、残りは法人本部 ）	5～7年度
	・ICT・AIの活用	5～6年度
	・DX技術の活用 の検討 ・AI問診の拡張	5～7年度
	・職員満足の向上	5～7年度

Ⅵ健全な経営

事業	行動計画	
診療報酬対策	・施設基準 ・重要な基準の維持・新規取得・ランクUp	5～7年度
	・DPC係数の向上	5～7年度
	・DPC 特定病院群の継続	5年度
	・ 標準病名登録の精度向上、体制の再整備	5～7年度
コスト削減	・GE、 バイオンミラー 採用の検討	5～7年度
	・ 医薬品、 医材のコスト削減の取り組み（ 薬事委員会、 医材委員会、VHJ共同購入）	5～7年度
	・ 物価高騰（食材、光熱費等）への対策（節約、支援金獲得）	5年度
新規入院患者獲得	・人口減少、高齢化による地域の疾病構成の変化への対応	5～7年度
	・新型コロナウイルスによる疾病構成の変化への対応（After コロナ）	5～7年度
	・適正な病床数の検討	5～7年度
計画的なインフラ整備	・周産期センター改修工事	5年度
	・ 3階～6階病棟改修工事	5～7年度
	・跡地利用の検討（旧病理検査室、旧腹部エコー室、旧中央材料室など）	5～7年度
	・システム更新 eカルテ 3-5年度、 サイバーテロ対策 、PHR対応、DX	5～7年度

3. 令和5年度事業計画

1. 年度目標

	目標	実績				
		令和5年度	令和4年度 ※2月時点	令和3年度	令和2年度	令和元年度
(1) 外来患者数	850人/日	※875.0人/日	857.5人/日	785.8人/日	893.9人/日	
(2) 新規入院患者数 ※全病棟	10,800人	※879.3人/月	10,798人/月	10,002人	11,657人	
(3) 手術件数 (手術センター)	4,800件	※4,262件/11ヶ月 対前年97.9%	4,761件	4,027件	4,568件	
(4) 内視鏡件数 (内視鏡c.n)	12,000件	※11,203件/11ヶ月 対前年105.7%	11,463件	10,177件	12,465件	
(5) 血管カテーテル治療・検査	1,500件	※1,446件/11ヶ月 対前年109.8%	1,475件	1,373件	1,472件	
(6) 放射線治療	20人	182人/11ヶ月	172人	144人	172人	
(7) 陽子線治療	100人	※72人/11ヶ月 対前年101.6%	78人	88人	118人	
(8) 救急車受入れ台数	5,000件	※4,696台/11ヶ月 対前年99.4%	5,103台	4,867台	5,137台	
(9) 紹介割合 (※令和4年度 計算式改定)	80%	※76.1%	85.0%	84.8%	77.2%	
(10) 逆紹介割合 (※令和4年度 計算式改定)	30%	※46.7%	92.1%	98.1%	90.6%	
(11) 平均在院日数 ※N4東、N3西除く	12.00日	※11.82日	11.61日	12.18日	12.08日	
(12) 事業収益	16,691百万円	16,074百万円	15,434百万円	13,909百万円	15,294百万円	
(13) 人員の確保、充実	・医師 ・看護師	・内科、外科、麻酔科、心臓血管外科、ERなど ・看護師60人補充 ※4月50人見込み ・医療アシスタント数名補充 ※急性期看護補助加算の維持				
(14) 教育研修	・医療安全	10回	18回	17回	11回	4回
	・感染対策・AST	10回	8回	16回	11回	7回
	・医療倫理	1回	5回	1回	1回	2回
	・個人情報保護	1回	1回	1回		
	・ハラスメント対策	1回	9回	6回		

2. 事業および行動計画

I お断りしない救急

事業	行動計画
救命救急センター	<ul style="list-style-type: none"> ・重症患者、紹介患者の迅速かつ適正な入院管理体制の維持 ・救急外来の体制整備 (救急救命士、事務、コメディカルとのタスクシェア) ・ER構想プロジェクトの進捗 (救急医確保、ドクターカー運用など) ・集中治療ユニットの増床の検討 (HCU 4床 or SICU 2床 or 一般病床)
小児救急拠点病院 周産期母子医療センター	<ul style="list-style-type: none"> ・救急車受入件数維持 ・人材確保 ・救急医確保 ・Dr.カー運用開始 ・SICUもしくはHCUの増床
-	<ul style="list-style-type: none"> ・当直体制の維持 (医師、看護師、コメディカル、事務) ・R5年度竣工 ・運用の安定

II 最先端医療

事業	行動計画	
がん拠点病院	<ul style="list-style-type: none"> ・がん拠点病院としての体制を整える（手術、化学療法、放射線治療、がん登録、緩和ケア） ・ゲノム医療連携病院の指定を目指す ・がん登録の精度向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・がん手術の増加 ・化学療法の増加 ・指定 ・登録実施と精度向上
放射線治療センター	<ul style="list-style-type: none"> 陽子線治療 <ul style="list-style-type: none"> ・保険適用疾患および先進医療の適用疾患の症例数増加 ・医療物理士の採用 ・医療インパウンドの症例数増加 ・JIHの指定の維持 定位照射 <ul style="list-style-type: none"> ・IMRT（X線）治療の適用症例の拡大 	<ul style="list-style-type: none"> ・治療件数増加 ・1名採用 ・治療件数増加 ・認証の維持 ・治療件数増加
手術センター	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度に竣工した4つのOP室についての効率的な運用 ・ハイブリッドORの安定した運用および適用拡大（TAVIなど） ・手術支援ロボット「ダヴィンチ」の安定した運用および適用拡大 ・外来手術推進（白内障、ポリペク、慢性硬膜下血腫、抜釘等） 	<ul style="list-style-type: none"> ・手術件数の増加 ・手術件数の増加 ・前立腺がん 件数維持 ・腎臓 件数増加 ・肺・縦隔 要件達成 ・消化器 件数増加 ・外保連指数の目標達成 ・デイサージャリーセンターの構想策定
血管治療（心臓血管CN・脳卒中CN）	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度に竣工した血管造影室（2部屋）についての効率的な運用 ・新規に導入した手技の安定した運用（インペラ、FFRct、NOガス） 	<ul style="list-style-type: none"> ・手術件数の増加 ・実施件数の増加
リハビリテーションセンター	<ul style="list-style-type: none"> ・実施件数の増加 ・365日リハ検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・件数増加 ・365日実施の検討
地域完結	<ul style="list-style-type: none"> ・DPC特定病院群の維持 ・県南に流出している疾患の実績増加 	<ul style="list-style-type: none"> ・基準の実績数の維持 ・弁膜症の手術件数維持 ・常勤医師の確保（眼科、乳腺外科など）
外来機能の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・専門外来の充実 ・常勤医師の確保（眼科、乳腺外科など） 	<ul style="list-style-type: none"> ・常勤医師の確保（眼科、乳腺外科など） ・外来診療単価の向上
	<ul style="list-style-type: none"> ・緩和ケア外来の開設 	<ul style="list-style-type: none"> ・6月開設
病棟機能の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・DPC入院期間Ⅱ以内の退院割合の向上（70%を目指す） ・記念病院との連携（ヘパリン化入院、整形外科など） ・RRSの安定した運用 ・感染制御の体制維持（医療スタッフの手技、PPE確保、5類移行への対応） ・緩和ケア病棟14床の開設 ・許可病床のダウンサイジングの検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・期間Ⅱ 70% ・新入院 900人/月 ・診療単価の向上 ・利用率の向上 ・運用検討 ・実施件数の増加 ・プロジェクト実施 ・7月開設 ・検討会実施
チーム医療	<ul style="list-style-type: none"> ・各チームの活動件数増加 ・各チームの体制充実 ※NST、認知症ケア、緩和ケア、入退院支援、IGT・AST、輸血c n、助産師外来、PST、栄養指導、口腔ケア、メディエーター※4年度新設など ・特定行為看護師 <ul style="list-style-type: none"> ・認知症（昨年1名取得） 手順書作製・運用開始 ・周術期の資格取得 ・タスクシェア <ul style="list-style-type: none"> ・看護業務のタスクシェアを全職種で拡充する（採血 対応できる検査技師の拡充など） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ラウンド（算定）実績増加 ・施設基準（新規・ランクUp） ・運用開始 ・資格取得 ・プロジェクト実施

III 地域連携

事業	行動計画	
地域医療支援病院	<ul style="list-style-type: none"> ・連携登録医、グループ施設の連携促進 ・地域連携クリバス稼働件数増加（脳卒中、がん、大腿骨頸部骨折） ・地連パス会議、CCセミナーの開催（Webの活用） 	<ul style="list-style-type: none"> ・紹介率 向上 ・逆紹介率 向上 ・連携登録医数 維持 ・地域連携パス実績 増加 ・地連パス会議 実施 ・CCセミナー 実施

IV地域貢献

事業	行動計画	
災害拠点	<ul style="list-style-type: none"> ・体制整備と訓練実施 ・DMA T派遣体制の確保 	<ul style="list-style-type: none"> ・訓練実施 (受け入れ、院内災害) ・DMA Tの派遣
へき地拠点	<ul style="list-style-type: none"> ・へき地拠点病院、診療所への医師派遣および代診医派遣 	<ul style="list-style-type: none"> ・医師派遣 ・代診医派遣
感染症	<ul style="list-style-type: none"> ・第二種感染症指定病院 (新型インフル・結核) としての患者受入れ ・新型コロナウイルス対策 ・岡山県北の重点医療機関としての役割 (重症患者受入、5類対応) ・ワクチン接種の実施、流通の基本型病院、副反応対応 ・地域の拠点としての体制確保 (感染対策向上加算1など) 	<ul style="list-style-type: none"> ・患者受入 ・診療体制の維持 ・入院体制の維持 ・検査体制の維持 ・防護具の確保 ・接種の実施 ・施設基準の維持
健診事業	<ul style="list-style-type: none"> ・受入れ実績の増加 ・オプション検査、プレミアムドッグの件数増加 	<ul style="list-style-type: none"> ・件数増加 ・件数増加
医療インバウンド	<ul style="list-style-type: none"> ・陽子線治療実績の増加 ・陽子線以外の治療実績の増加 (乾癬、糖尿病など) ・スーパードッグの件数増加 	<ul style="list-style-type: none"> ・受入実施 ・受入実施 ・受入実施
第二種社会福祉事業	<ul style="list-style-type: none"> ・減免、無料相談等 	<ul style="list-style-type: none"> ・減免割合10%以上

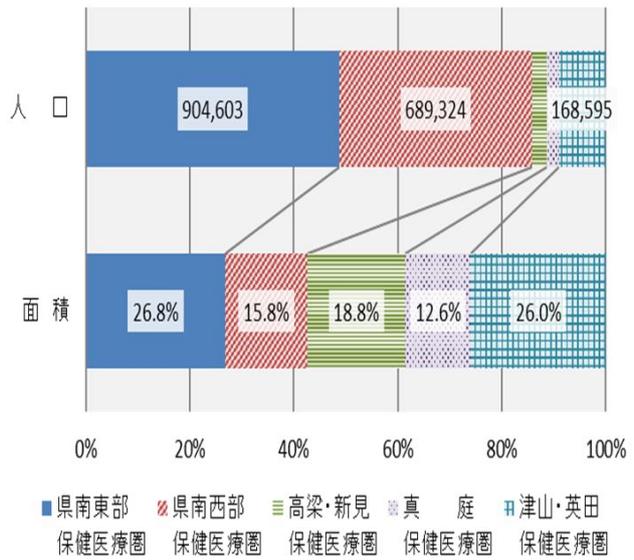
V人材育成

事業	行動計画	
職員確保 「職員に選ばれる病院」	<ul style="list-style-type: none"> ・医師 内科、外科、麻酔科、心臓血管外科、ER、精神科など ・研修医 マッチング10割 ・看護師増員 ※病床拡充、看護師夜間配置加算の維持、看護師負担軽減 ・医療アシスタント増員 ※急性期看護補助加算の維持 	<ul style="list-style-type: none"> ・採用の検討 ・採用の検討 ・採用の検討 ・採用の検討
研修	<ul style="list-style-type: none"> ・研修会 (医療安全、感染対策、医療倫理、個人情報、ハラスメント対策など) の実施 ・実習受入れ (医師、看護師、コメディカル) ・インターンシップ、見学受入れ (小学生、中学生、大学生、社会人、各種団体) 	<ul style="list-style-type: none"> ・研修会開催 ・受入実施 ・受入実施
働き方改革	<ul style="list-style-type: none"> ・長時間労働 対策 ・医師 A水準を目指す ・手術処置夜間休日加算の適応拡大 (現在は脳外、外科) ・看護師 前残業削減、配茶の検討 ・業務改善プロジェクト (前3カ年でコメディカル終了、残りは法人本部) ・ICT・AIの活用 <ul style="list-style-type: none"> ・DX技術の活用の検討 ・AI問診の拡張 ・職員満足の上 	<ul style="list-style-type: none"> ・対応検討 ・対応検討 ・対応検討 ・対応検討 ・向上

VI健全な経営

事業	行動計画	
診療報酬対策	<ul style="list-style-type: none"> ・施設基準 重要な基準の維持・新規取得・ランクUp ・DPC 係数の向上 ・DPC 特定病院群の継続 ・標準病名登録の精度向上、体制の再整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設基準 (新規・ランクUp) ・係数の向上 ・指定継続 ・対応検討
コスト削減	<ul style="list-style-type: none"> ・GE、バイオンミラー採用の検討 ・医薬品、医材のコスト削減の取り組み (薬事委員会、医材委員会、VHJ共同購入) ・物価高騰 (食材、光熱費等) への対策 (節約、支援金獲得) 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設基準ランクUp ・削減の検討 ・対応検討
新規入院患者獲得	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少、高齢化による地域の疾病構成の変化への対応 ・新型コロナウイルスによる疾病構成の変化への対応 (After コロナ) ・適正な病床数の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・対策立案 ・対策立案 ・対策立案
計画的な インフラ整備	<ul style="list-style-type: none"> ・周産期センター改修工事 ・3階～6階病棟改修工事 ・跡地利用の検討 (旧病理検査室、旧腹部エコー室、旧中央材料室など) ・システム更新 eカルテ 3-5年度、サイバーテロ対策、PHR 対応、DX 	<ul style="list-style-type: none"> ・5月竣工 ・対策立案 ・対策立案 ・対策立案

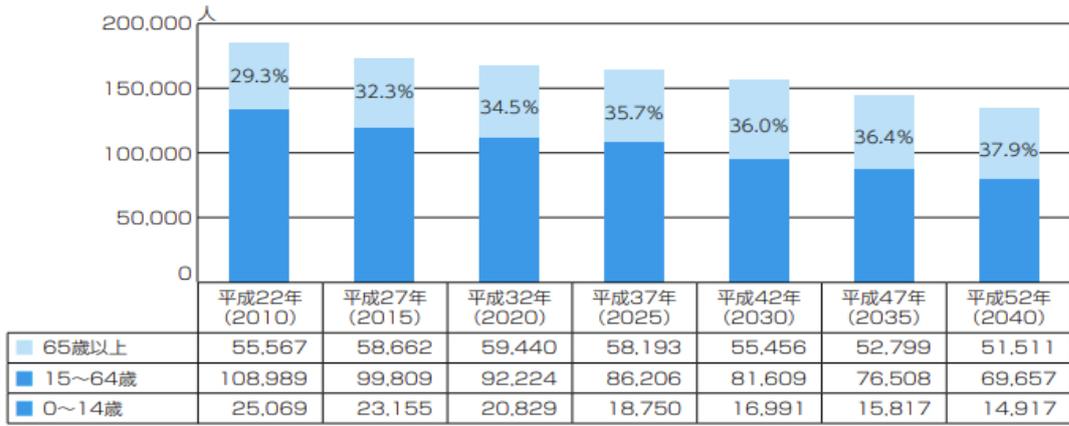
参考資料1 岡山県の人口分布（2022年）



※出典 ①面積：岡山県保健医療計画 第3床 保健医療圏(2016時点)
 ②人口：岡山県毎月流動人口調査 市町村別人口(2023.1.1時点)

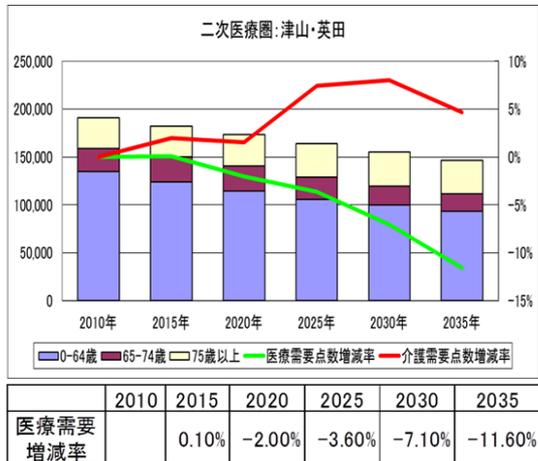
参考資料2 津山・英田医療圏の将来人口推計

図表11-5-2-2 津山・英田圏域の将来人口の推計

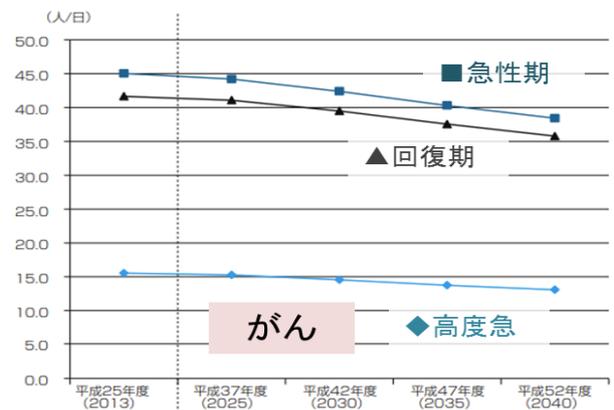


(資料：総務省統計局「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「都道府県別将来人口推計」(平成25(2013)年3月推計))

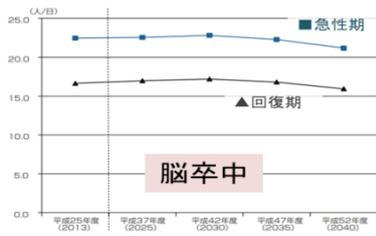
参考資料3 津山・英田医療圏の医療需要推計



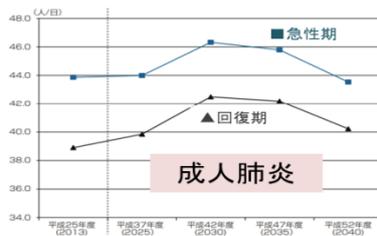
図表5-1-4-18 がんの入院医療需要推計③ (津山・英田)



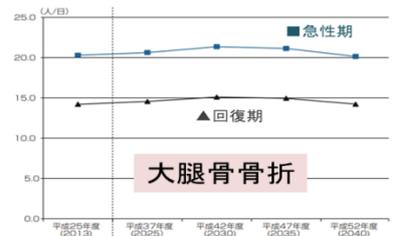
図表5-1-4-21 脳卒中の入院医療需要推計③ (津山・英田)



図表5-1-4-26 成人肺炎の入院医療需要推計⑤ (津山・英田)



図表5-1-4-29 大腿骨骨折の入院医療需要推計③ (津山・英田)



参考資料4 津山・英田医療圏の医療需要推計 (疾患別)

疾患分類	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年
感染症及び寄生虫症	100%	101.21%	100.07%	103.22%	102.20%	98.81%	92.99%
新生物	100%	100.55%	98.45%	96.63%	93.82%	90.02%	85.52%
血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	100%	98.41%	96.00%	97.99%	96.46%	92.83%	86.88%
内分泌、栄養及び代謝疾患	100%	101.04%	99.83%	99.93%	97.18%	93.14%	88.36%
精神及び行動の障害	100%	97.83%	94.59%	90.60%	87.01%	82.88%	78.31%
神経系の疾患	100%	99.17%	97.04%	98.11%	95.99%	92.13%	86.39%
眼及び付属器の疾患	100%	101.36%	99.95%	100.49%	98.65%	95.08%	90.09%
耳及び乳様突起の疾患	100%	97.18%	95.62%	97.42%	94.93%	90.51%	84.42%
循環器系の疾患	100%	101.13%	100.02%	103.30%	102.42%	99.08%	93.15%
呼吸器系の疾患	100%	100.85%	99.60%	103.76%	103.22%	99.97%	93.74%
消化器系の疾患	100%	100.03%	97.91%	98.50%	96.66%	93.11%	87.74%
皮膚及び皮下組織の疾患	100%	100.87%	99.64%	103.24%	102.31%	98.91%	92.93%
筋骨格系及び結合組織の疾患	100%	100.93%	99.54%	101.24%	99.51%	95.91%	90.51%
腎尿路生殖器系の疾患	100%	100.64%	99.28%	100.94%	99.13%	95.44%	90.02%
妊娠、分娩及び産後	100%	88.84%	81.47%	77.55%	74.23%	69.62%	64.15%
周産期に発生した病態	100%	91.32%	80.67%	73.21%	68.78%	65.08%	60.93%
先天奇形、変形及び染色体異常	100%	93.00%	85.36%	78.94%	74.02%	69.62%	64.66%
損傷、中毒及びその他の外因の影響	100%	100.34%	98.83%	101.16%	99.91%	96.42%	90.55%
総数	100%	99.94%	98.00%	98.80%	96.92%	93.27%	87.83%

増減

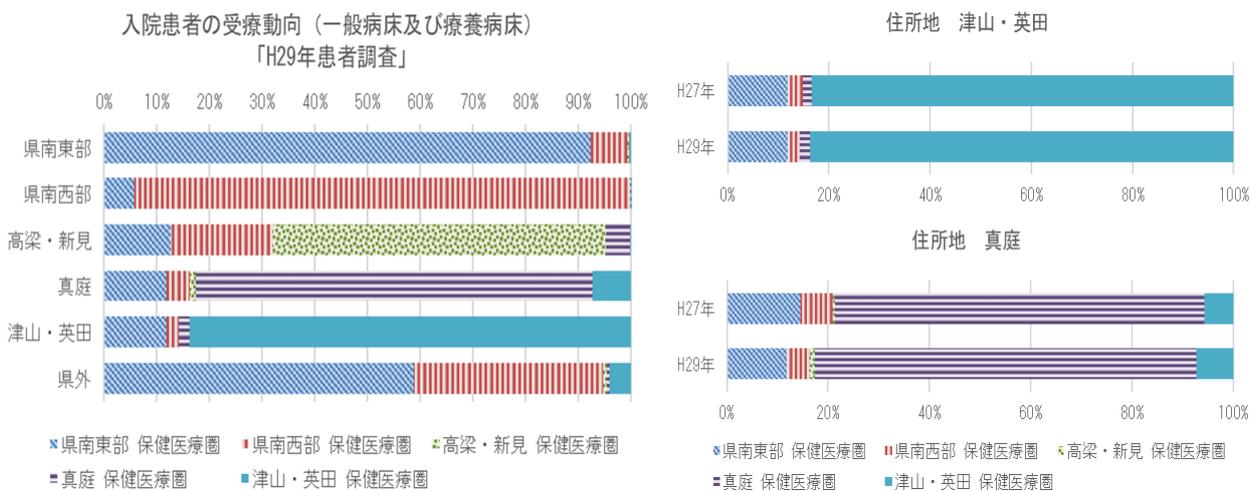
100%↑

95%↓

90%↓

80%↓

参考資料5 津山・英田医療圏の患者流入出 (2017年・2019年) ※岡山県医療計画より



参考資料6 消防車

	R 4	R 3	R 2	R 1
津山圏域消防組合 出動件数	8,102	7,753	7,093	7,759
津山中央病院 受入件数	5,187	5,137	4,867	5,103

参考資料7 地域医療構想

構想区域別許可病床数の現況と必要病床数推計の比較

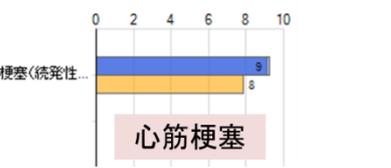
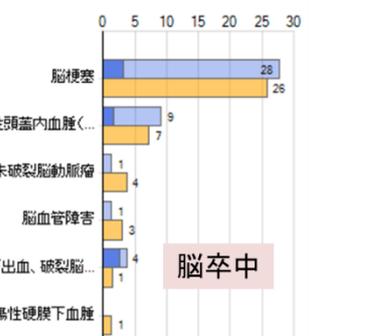
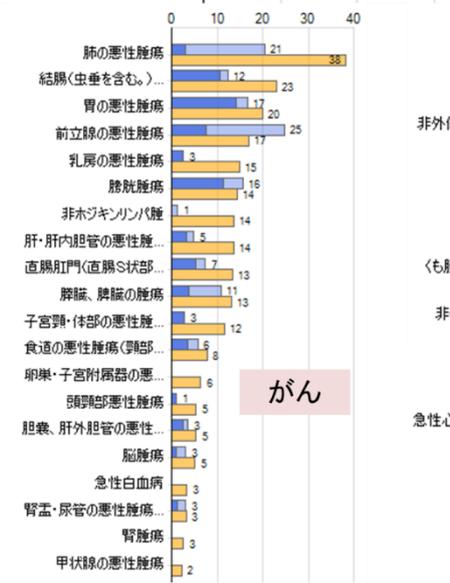
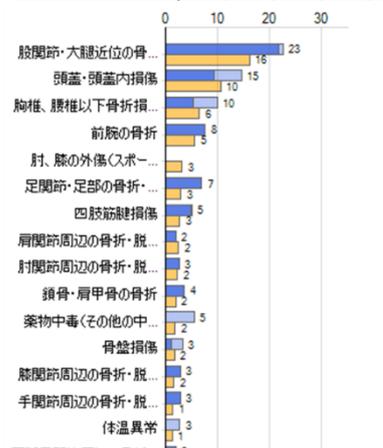
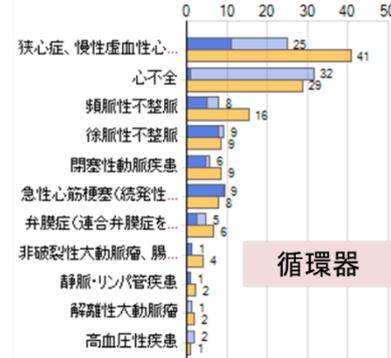
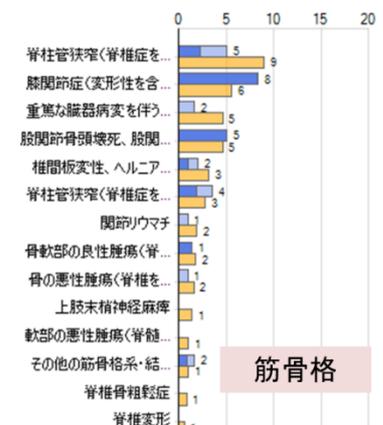
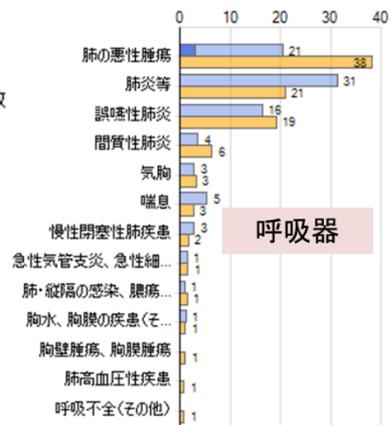
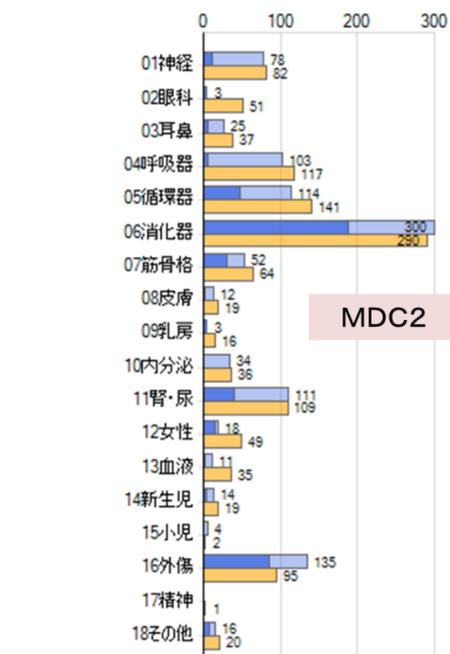
津山・英田	2017年現在			必要数		
	病院	診療所	合計	2013年	2025年	2040年
高度急	125	0	125	137	132	118
急性期	877	119	996	514	501	460
回復期	187	11	198	487	483	452
慢性期	682	99	781	605	414	411
休棟・無回答		63	63			
	1,871	292	2,163	1,743	1,530	1,441



参考資料8 推計患者数 (2020年)

津山中央病院から半径20km圏内

人口 170,804人
 推計患者数 1,183人
 退院患者数 1,032人
 ■手術あり退院数 ■手術なし退院数 ■推計患者数 (月平均)



参考資料 9-1 令和4年度の診療報酬改定（12月22日 厚生労働省）

・全体 ▲0.94%	・診療報酬本体 +0.43%	※1 ※2～5を除く改定分 +0.23% ※2 看護の処遇改善の対応 +0.20% ※4 不妊治療の保険適用のための特例的な対応 +0.20% ※5 小児の感染防止対策 加算措置 期限到来 ▲0.10%
	・薬価 ▲1.35%	・材料価格 ▲0.02%

参考資料 9-2 令和4年度診療報酬改定の基本方針（概要）

改定に当たっての基本認識	
<ul style="list-style-type: none"> ▶ 新興感染症等にも対応できる医療提供体制の構築など医療を取り巻く課題への対応 ▶ 健康寿命の延伸、人生100年時代に向けた「全世代型社会保障」の実現 ▶ 患者・国民に身近であって、安心・安全で質の高い医療の実現 ▶ 社会保障制度の安定性・持続可能性の確保、経済・財政との調和 	
改定の基本的視点と具体的方向性	主な改定項目
<p>(1) 新型コロナウイルス感染症等にも対応できる効率的・効果的で質の高い医療提供体制の構築 【重点課題】</p> <p>(2) 安心・安全で質の高い医療の実現のための医師等の働き方改革等の推進 【重点課題】</p> <p>(3) 患者・国民にとって身近であって、安心・安全で質の高い医療の実現</p> <p>(4) 効率化・適正化を通じた制度の安定性・持続可能性の向上</p>	<p>【新型コロナ対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・DPC機能評価係数に新型コロナウイルス感染症に係る病床確保 ・感染対策向上加算 評価見直し 点数Up ・導強化加算 新30点 ・サーベイランス強化加算 新5点 <p>【機能分化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・急性期充実体助加算 新460点 ・医療・看護必要度 見直し ・救急医療管理加算1・2 点数Up ・救命救急入院料等 対象拡大 ・ECMO 評価見直し ・入退院支援加算 評価見直し 点数Up ・紹介状なし定額負担 見直し ・紹介・逆紹介 基準・計算式 見直し <p>【働き方改革・チーム医療】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看護職員の処遇改善（月額平均12,000円相当） ・術後疼痛管理チーム加算 新100点 ・周術期薬剤管理加算 新75点 ・周術期栄養管理実施加算 新270点 ・重症患者対応体制強化加算 新750点 ・重症患者初期支援充実加算 新300点 ・早期栄養介入管理加算 対象拡大 ・地域医療体制確保加算 見直し ・手術及び処置の時間外加算1等 見直し ・看護職員夜間配置加算、看護補助体制加算 点数Up ・看護補助体制充実加算 新151点 ・医師事務作業補助体制加算 点数Up ・病棟薬剤業務実施加算 対象拡大 <p>【安心・安全】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・診療録管理体制加算 要件見直し ・報告書管理体制加算 新7点 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・陽子線治療 適応拡大 ・ロボット支援下内視鏡手術 適応拡大 ・養育支援体制加算 新300点
<p>○当面、継続的な対応が見込まれる新型コロナウイルス感染症への対応</p> <p>○医療計画の見直しも念頭に新興感染症等に対応できる医療提供体制の構築に向けた取組</p> <p>○医療機能や患者の状態に応じた入院医療の評価</p> <p>○外来医療の機能分化等</p> <p>○かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬剤師の機能の評価</p> <p>○質の高い在宅医療・訪問看護の確保</p> <p>○地域包括ケアシステムの推進のための取組</p> <p>○医療機関内における労務管理や労働環境の改善のためのマネジメントシステムの実践に資する取組の推進</p> <p>○各職種がそれぞれの高い専門性を十分に発揮するための勤務環境の改善、タスク・シェアリング/タスク・シフティング、チーム医療の推進</p> <p>○業務の効率化に資するICTの利活用の推進、その他長時間労働などの厳しい勤務環境の改善に向けての取組の評価</p> <p>○地域医療の確保を図る観点から早急に対応が必要な救急医療体制等の確保</p> <p>○令和3年11月に閣議決定された経済対策を踏まえ、看護の現場で働く方々の収入の引上げ等に係る必要な対応について検討するとともに、負担軽減に資する取組を推進</p> <p>○患者にとって安心・安全に医療を受けられるための体制の評価や医薬品の安定供給の確保等</p> <p>○医療におけるICTの利活用・デジタル化への対応</p> <p>○アウトカムにも着目した評価の推進</p> <p>○重点的な対応が求められる分野について、国民の安心・安全を確保する観点からの適切な評価</p> <p>○口腔疾患の重症化予防、口腔機能低下への対応の充実、生活の質に配慮した歯科医療の推進</p> <p>○薬局の地域におけるかかりつけ機能に応じた適切な評価、薬局・薬剤師業務の対物中心から対人中心への轉換の推進、病棟薬剤師業務の評価</p> <p>○後発医薬品やバイオ後続品の使用促進</p> <p>○費用対効果評価制度の活用</p> <p>○市場実勢価格を踏まえた適正な評価等</p> <p>○医療機能や患者の状態に応じた入院医療の評価（再掲）</p> <p>○外来医療の機能分化等（再掲）</p> <p>○重症化予防の取組の推進</p> <p>○医師・病棟薬剤師と薬局薬剤師の協働の取組による医薬品の適正使用等の推進</p> <p>○効率性等に応じた薬局の評価の推進</p>	

参考資料 9-3 第8次医療計画【2024年～2029年】のトピックス

- 『5疾病5事業』から『5疾病6事業』へ ※『**新興感染症**等の感染拡大時における医療』が追加
- 外来機能分化 ※『**かかりつけ医機能を担う医療機関**』と『**紹介受診重点医療機関**』

参考資料10 津山中央病院 職員数推移

	H30.4	H31.4	R2.4	R3.4	R4.4	R5.4
医師	96	100	97	104	114	107
歯科医師	2	2	2	2	1	2
研修医	22	21	18	14	18	18
看護師	487	468	460	468	476	486
助産師	12	12	15	14	15	16
保健師	13	16	16	17	16	14
准看護師	12	9	9	7	5	3
介護福祉士	7	9	9	11	13	13
医療アシスタントⅡ	63	59	65	57	56	53
救急救命士	-	-	-	3	6	8
薬剤師	27	27	27	26	27	28
臨床検査技師	27	27	29	29	30	32
診療放射線技師	37	35	37	37	37	37
医学物理士	-	1	0	0	0	1
理学療法士	31	33	31	32	31	32
作業療法士	13	15	12	14	15	16
言語聴覚士	2	3	3	1	1	2
視能訓練士	3	3	3	3	3	3
管理栄養士	12	12	12	12	12	14
栄養士	6	5	1	1	1	1
調理師・調理補助	32	26	22	22	22	23
臨床工学技士	16	17	15	15	15	15
歯科衛生士	6	6	5	6	6	6
歯科技工士	1	1	1	1	1	0
社会福祉士	9	8	7	6	4	4
臨床心理士	1	1	1	1	1	1
保育士	3	3	3	3	4	4
診療情報管理士	23	24	24	25	26	24
事務職員等	58	53	55	59	66	69
合計	1,021	996	979	990	1,022	1,032

参考資料 11 津山中央病院 概要

●主な医療機器

・da Vinci (ダヴィンチ) -----	1 台
・ハイブリッドOR-----	1 台
・陽子線治療装置-----	1 台
・MRI (3テスラ) -----	1 台
・MRI (1.5テスラ) -----	2 台
・マルチスライスCT (16列) -----	1 台
・マルチスライスCT (64列) -----	3 台
・PET / CT-----	1 台
・血管撮影装置 (パイプレン) -----	2 台
・DSA (頭部、胸腹部用) -----	1 台
・リニアック (IMRT対応) -----	1 台
・デジタルマンモグラフィ-----	2 台
・ガンマカメラ (RI) -----	1 台
・一般撮影装置-----	4 台
・DRX 線TV-----	2 台
・X 線TV-----	3 台
・ESWL-----	1 台

●手術室

・11室 (クラス1000バイオクリーンルーム1室含む)

●主なシステム

- ・Eカルテ (電子カルテ)
- ・オーダーリング (外来・入院)
- ・看護支援システム等
- ・電子カルテ・バイタル連携システム (ユカリアタッチ)

●付属施設

- ・ヘリポート
- ・備蓄倉庫
- ・第1、第2エネルギーセンター
- ・長期入院患者院内学級 (小学生、中学生)
- ・津山慈風会記念ホール (154席)
- ・医師用マンション (25戸)
- ・看護師等独身宿舎 (36戸)
- ・研修医等独身宿舎 (54戸)
- ・院内保育園 (認可保育所)

●病院規模

敷地面積 84,787.92㎡ / 延床面積 52,837.76㎡

●病床数 515床

一般病棟-----471床 (SICU6床、NICU機能6床含む)
救命救急センター-----26床 (ICU4床、HCU22床)
結核病棟-----10床
感染症病棟-----8床

●診療科目

内科、消化器内科、消化器外科、循環器内科、呼吸器内科、呼吸器外科、感染症内科、糖尿病内科、神経内科、小児科、外科、乳腺・内分泌外科、心臓血管外科、脳神経外科、整形外科、産婦人科、皮膚科、形成外科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、眼科、救急科、病理診断科、放射線科、歯科、歯科口腔外科、リハビリテーション科、麻酔科、ペインクリニック内科、ペインクリニック外科

●併設施設

- ・津山中央病院 救命救急センター
- ・津山中央健康管理センター
- ・津山中央看護専門学校
- ・医療研修センター
- ・フィットネス&スパ CARVATA
- ・岡山大学・津山中央病院共同運用がん陽子線治療センター

●関連施設

- ・津山中央記念病院
- ・津山中央クリニック
- ・津山中央訪問看護ステーション
- ・津山中央居宅介護支援事業所
- ・アーバンライフ二階町 (有料老人ホーム)
- ・ナイスデイ二階町 (小規模多機能施設)

●第三者認証

- ・日本病院機能評価機構 (認定5回目)
- ・医療被ばく低減施設
- ・外国人患者受入れ医療機関認証制度 (JMIP)
- ・ジャパンインターナショナルホスピタルズ (JIH)

令和5年度事業計画

津山中央記念病院

目 次

1. 津山中央記念病院の理念、基本方針、行動規範
2. 令和5年度事業計画

1. 津山中央記念病院の理念、基本方針、行動規範

作成：平成13年 8月14日

改定：平成24年 1月12日（第2版）

直近見直し：令和 5年 4月 1日

理念

「私たち津山慈風会は地域の皆さんにやさしく寄り添います」

基本方針

- お断りしない救急診療に努める
- 最先端の医療を提供する
- 地域医療機関との連携を強化する
- 地域に貢献する活動を推進する
- 教育、人材育成に傾注する
- 健全な経営に努める

行動規範

私たちは、患者の満足、地域の満足、職員の満足を追求します

1. 患者満足：患者の人権を尊重し、医療の質を高め納得と同意に基づく医療を提供します
2. 地域満足：地域医療支援病院として、密な連携を図り、地域医療・福祉に貢献します
3. 職員満足：高い志を持って医療現場に臨み、日々業務を見直し、リスク管理のできる医療のプロとして研鑽とチャレンジを惜しみません

2. 令和5年度事業計画

1. 年度目標

	目標		実績		
	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
(1) 外来患者数	人/日	*149.1人/日/10ヶ月	149.1人/日	150.8人/日	167.0人/日
(2) 入院患者数	人/日	*60.5人/日/10ヶ月	60.5人	58.5人	61.8人
(3) 事業収益	百万円	百万円	1,572百万円	1,634百万円	1,610百万円

2. 事業および行動計画

基本方針/行動計画	具体化項目	成果物/目標
1. お断りしない救急診療に努める	①診療機能充実	津山中央病院で急性期を脱した患者を受け入れる 自前入院増
2. 最先端の医療を提供する	①糖尿病診療機能充実	質の向上
	②透析センター機能向上	コメディカルの確保
	③リハビリ機能の充実	作業療法士の確保 クリニックとの統合による充実
3. 地域医療機関との連携を強化する	①地域連携機能強化	地域包括ケア病床の充実
4. 地域に貢献する活動を推進する	①研修受入	中学生、高校生研修見学受入
	②啓発活動	市民啓発実施
	③第二種社会福祉事業	社会福祉事業継続
5. 教育、人材育成に傾注する 計画的な教育・研修を行い、専門能力や職員倫理の向上を図る。	①各部門別レベル向上検討	医局 看護部 透析室 栄養課 リハビリテーション課 事務部
	②職員倫理教育実施	職員倫理教育継続実施
	③医学研究推進	学会出張奨励 研修出張奨励 臨床研究奨励
6. 健全な経営に努める	①病床稼働率の確保	1病棟 利用率確保 適正な運用 地域包括ケア病床の充実 2病棟 利用率確保 適正な運用(施設基準維持)
7. 患者の人権を尊重し、医療の質を高め納得と同意に基づく医療を提供する	①患者接遇レベルアップ	職員教育年間計画
	②患者満足度調査実施	患者アンケートを実施する
8. 高い志を持って医療現場に臨み、日々業務を見直し、リスク管理のできる医療のプロとして研鑽とチャレンジをする	①目標管理制度導入	目標管理制度導入検討
	②コンプライアンス(法令遵守)、危機管理体制強化	コンプライアンス教育監視強化 危機管理体制強化
	③医療安全情報収集、対策機能を強化する	対策を全院周知徹底 トラブル発生時の検証
	④医療安全風土向上	研修会を実施する

令和5年度事業計画

津山中央クリニック

目 次

1. 津山中央クリニックの理念、基本方針、行動規範
2. 令和5年度事業計画

1. 津山中央クリニックの理念、基本方針、行動規範

作成 : 平成13年 8月14日
 改定 : 平成24年 1月12日 (第2版)
 直近見直し : 令和 5年 4月 1日

理念

「私たち津山慈風会は地域の皆さんにやさしく寄り添います」

- ## 基本方針
- お断りしない救急診療に努める
 - 地域に貢献する活動を推進する
 - 最先端の医療を提供する
 - 教育、人材育成に傾注する
 - 地域医療機関との連携を強化する
 - 健全な経営に努める

- ## 行動規範
- 私たちは、患者の満足、地域の満足、職員の満足を追求します
1. 患者満足：患者の人権を尊重し、医療の質を高め納得と同意に基づく医療を提供します
 2. 地域満足：地域医療支援病院として、密な連携を図り、地域医療・福祉に貢献します
 3. 職員満足：高い志を持って医療現場に臨み、日々業務を見直し、リスク管理のできる医療のプロとして研鑽とチャレンジを惜しみません

2. 令和5年度事業計画

基本方針／行動計画	具体化項目	成果物／目標	
1. お断りしない救急診療に努める	①診療機能充実	外来機能を充実する 津山中央病院の外来軽減	小児科診療枠を拡大する
2. 最先端の医療を提供する	①診療可能科の拡大	医師の確保	小児科医師確保
	②リハビリ機能の充実	訪問リハの充実	疾患拡大
3. 地域医療機関との連携を強化する	①地域連携機能強化	津山中央病院退院の在宅患者の外来診療を実施	外来患者数の増
4. 地域に貢献する活動を推進する	①第二種社会福祉事業	社会福祉事業継続	減免、無料相談等
5. 教育、人材育成に傾注する計画的な教育・研修を行い、専門能力や職員倫理の向上を図る。	①各部門別レベル向上検討	医局	専門医の充実
		看護部	看護師の確保
		事務部	接遇の向上
	②職員倫理教育実施	職員倫理教育継続実施	年2回以上
	③医学研究推進	学会出張奨励	発表奨励
		研修出張奨励	伝達研修実施
		臨床研究奨励	医学雑誌発刊
6. 健全な経営に努める	①患者の確保	広報を充実する	広報の充実
7. 患者の人権を尊重し、医療の質を高め納得と同意に基づく医療を提供する	①患者接遇レベルアップ	職員教育年間計画	年3回以上実施 成果の報告書提出
	②患者満足度調査実施	患者アンケートを実施する	年2回 結果分析と対策
8. 高い志を持って医療現場に臨み、日々業務を見直し、リスク管理のできる医療のプロとして研鑽とチャレンジをする	①目標管理制度導入	目標管理制度導入検討	目標管理制度(試案)
	②コンプライアンス(法令遵守)、危機管理体制強化	コンプライアンス教育監視強化	研修会開催、監視体制の強化
		危機管理体制強化	管理体制の強化
③医療安全風土向上	研修会を実施する	津山中央病院合同	

令和5年度事業計画

津山中央看護専門学校

目 次

1. 津山中央看護専門学校の理念・目的、教育目標
2. 今年度重点目標
3. 令和5年度事業計画

1. 津山中央看護専門学校の理念・目的、教育目標

作成：平成13年8月14日
改訂：令和3年4月1日（第2版）
直近見直：令和5年4月1日

理念・目的

一般財団法人津山慈風会の理想とする仁愛の精神を養うと共に、人格の陶冶を目指し、幅広く教養を高め、高度な専門的知識及び技術を教授し、看護専門職として社会に貢献できる有能な人材を育成する

教育目標

- (1) 優しさ、思いやり、豊かな人間性をもち、倫理的配慮のもとに行動できる
- (2) 人間を統合された存在として、身体的・精神的・社会的に理解することができる
- (3) 自己理解・他者理解を通して人間関係を築くことができる
- (4) 看護実践に必要な基礎的知識・技術を習得することができる
- (5) 科学的思考により、自己の考えや行動を決定できる
- (6) 他の医療従事者と連携を取りながら、患者や家族へ適切な援助ができる
- (7) 地域に暮らす人々の健康生活に向けた支援を行うことができる
- (8) 社会情勢に関心をもち、看護と結びつけることができる
- (9) 向上心をもち、学び続ける力を身につけることができる

2. 今年度重点目標

- (1) 看護のプロを目指す、人物・学力ともに優秀な志願者の確保
- (2) 豊かな人間性を備え、主体的に行動できる学生の育成
- (3) ICT教育を推進し、臨床現場の先端機器に対応できる看護師の育成

3. 令和5年度事業計画

基本方針／行動計画／具体化項目	成果物／目標
1. 新カリキュラムを効果的に展開する	地域連携を取り入れたカリキュラムの展開
2. 優秀な学生を確保する	競争率2倍
3. 地元志願者を増加させる	県北出身の入学者を定員の7割以上確保
4. 看護師国家試験の教育充実を図る	合格率100%
5. 津山慈風会施設への就職率を上げる	就職率7割以上
7. 現基礎看護教育の動向の把握ができる	院内外の研修への積極的な参加
6. 専門能力や職員倫理の向上を図る	教育・研修の実施 職員倫理研修への参加

令和5年度事業計画

津山中央訪問看護ステーション

目 次

1. 津山中央訪問看護ステーションの理念、基本方針、行動規範
2. 今年度重点目標
3. 令和5年度事業計画

1. 津山中央訪問看護ステーションの理念、基本方針、行動規範

作成：平成13年8月14日
改訂：令和3年4月1日（第2版）
直近見直し：令和5年4月1日

理念

「利用者の特性を踏まえて、可能な限りその居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、その療養生活を支援し、心身の機能の維持回復を目指し、利用者の満足できる適切な訪問看護サービスを提供する」

基本方針

- ・利用者との信頼関係の構築に努める
- ・教育、人材育成に傾注する
- ・地域医療・保健・福祉機関との連携を強化する
- ・健全な経営に努める

行動規範

私たちは、利用者の満足、地域の満足、職員の満足を追求します

1. 利用者満足：利用者の人権を尊重し、看護・ケアマネジメントの質を高め納得と同意に基づく看護・ケアマネジメントを提供します
2. 地域満足：それぞれの特性を発揮して、密な連携を図り、地域医療・福祉に貢献します
3. 職員満足：高い志を持って現場に臨み、日々業務を見直し、リスク管理のできる看護・ケアマネジメントのプロとして研鑽とチャレンジを惜しみません

2. 今年度重点目標

1. 利用者満足の追及
2. 人材育成

3. 令和5年度事業計画

基本方針／行動計画／具体化項目	成果物／目標
1. 利用者の人権を尊重した、利用者第一主義の看護を実践する。	利用者の満足度アップ（調査実施）
2. 接遇の改善を組織的、継続的に進める。（津山中央病院合同）	津山中央病院の研修に参加
3. 医療の質、医療スタッフを充実する。（知識、技術の向上をはかる。）	スタッフの確保、充実
4. 医療安全体制を強化する。（津山中央病院合同）	津山中央病院に準ず
5. 計画的な教育・研修を行い、専門能力や職員倫理の向上を図る	法人内外の研修に参加し、知識、技術を身につける
6. 自己啓発・研鑽制度を設け、自己の能力向上を支援する。	個別に研修計画を立て、実行する
7. 健全経営を維持するために経営管理を強化する。	看護体制強化加算の維持、機能強化型算定を目指す
8. 医療機関、ケアマネージャー等との連携を深め、利用者増を目指す	医療依存度の高い利用者、終末期の利用者を増やす

令和5年度事業計画

津山中央居宅介護支援事業所

目 次

1. 津山中央居宅介護支援事業所の理念、基本方針、行動規範
2. 今年度重点目標
3. 令和5年度事業計画

1. 津山中央居宅介護支援事業所の理念、基本方針、行動規範

作成 : 平成13年 8月14日
改定 : 平成24年 1月12日 (第2版)
直近見直し : 令和 5年 4月 1日

理念

「事業所の介護支援専門員は、利用者が要介護状態にあっても、可能な限りその居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるように配慮し、利用者の選択に基づき、適切な保健医療サービス及び福祉サービスが、多様な事業者から、総合的かつ効率的に提供されるよう、公正中立な居宅介護支援を行う」

基本方針

- ・ サービス依頼をお断りしない
- ・ 地域に貢献する活動を推進する
- ・ 地域医療・保健・福祉機関との連携を強化する
- ・ 教育、人材育成に傾注する
- ・ 健全な経営に努める

行動規範

私たちは、利用者の満足、地域の満足、職員の満足を追求します

1. 利用者満足：利用者の人権を尊重し、看護・ケアマネジメントの質を高め納得と同意に基づく看護・ケアマネジメントを提供します
2. 地域満足：それぞれの特性を発揮して、密な連携を図り、地域医療・福祉に貢献します
3. 職員満足：高い志を持って現場に臨み、日々業務を見直し、リスク管理のできる看護・ケアマネジメントのプロとして研鑽とチャレンジを惜しみません

2. 今年度重点目標

1. 利用者満足の追求
2. 働き方改革

3. 令和5年度事業計画

基本方針／行動計画／具体化項目	成果物／目標
1. 利用者の人権を尊重した、利用者第一主義の支援を実践する。	津山中央病院の研修に参加
2. 待遇の改善を組織的、継続的に進める。(津山中央病院合同)	津山中央病院の研修に参加
3. 保健・福祉・医療サービス事業者との連携を強化する。	連携会議の実施
4. 計画的な教育・研修を行い、専門能力や職員倫理の向上を図る	研修会に参加
5. 自己啓発・研鑽制度を設け、自己の能力向上を支援する。	県協会主催の研修会に参加
6. 質の高いケアプランの作成を実施する。	

令和5年度事業計画

アーバンライフ二階町

目 次

1. アーバンライフ二階町の理念、行動規範
2. 今年度重点目標
3. 令和5年度事業計画

1. アーバンライフ二階町の理念、行動規範

作成 : 平成22年 5月 1日
改定 : 平成24年 1月12日 (第2版)
直近見直 : 令和 5年 4月 1日

理念

「私たち津山慈風会は地域の皆さんにやさしく寄り添います」

行動規範

私たちは、利用者の満足、地域の満足、職員の満足を追求します

1. 利用者満足：利用者の人権を尊重し、介護の質を高め納得と同意に基づく介護を提供します
2. 地域満足：それぞれの特性を發揮して、密な連携を図り、地域介護・福祉に貢献します
3. 職員満足：高い志を持って現場に臨み、日々業務を見直し、リスク管理のできる介護のプロとして研鑽とチャレンジを惜しみません

2. 今年度重点目標

契約者数 29 名、平均実入居 28 名、平均介護度 2.8 の達成

3. 令和5年度事業計画

基本方針／行動計画／具体化項目	成果物／目標
1. 安定的な運営を実施する	<u>常に周辺病院・居宅等に情報を発信し、待機案件の確保を図る</u> <u>ご入居者の状態に気を配り入院期間等不在期間を短縮する</u>
2. 利用者満足：利用者の人権を尊重し、介護の質を高め納得と同意に基づく介護を提供します	<u>スタッフの質的向上のため、研修の実施、全体会議での意識統一を図る</u> <u>接遇研修の実施</u> <u>各種委員会による改善提案</u>
3. 地域満足：それぞれの特性を發揮して、密な連携を図り、地域介護・福祉に貢献します	<u>ナイスデイ二階町と連携を図り、地域に根ざした施設として貢献する</u> <u>コロナ禍にあっても可能な限り近隣と連携を図る</u>
4. 高い志を持って現場に臨み、日々業務を見直し、リスク管理のできる介護のプロとして研鑽とチャレンジを惜しみません	<u>自己目標作成および面談の実施</u> <u>時代のニーズに合わせた業務改善</u> <u>ケアマネを中心としたリスク管理</u> <u>徹底した感染予防自己管理</u> <u>ケア実施時の感染予防の徹底</u>

令和5年度事業計画

ナイスデイ二階町

目 次

1. ナイスデイ二階町の理念、行動規範
2. 今年度重点目標
3. ナイスデイ二階町 令和5年度事業計画

1. ナイスデイ二階町の理念、行動規範

作成 : 平成22年 5月 1日
改定 : 平成24年 1月12日 (第2版)
直近見直 : 令和 5年 4月 1日

理念

「私たち津山慈風会は地域の皆さんにやさしく寄り添います」

行動規範

私たちは、利用者の満足、地域の満足、職員の満足を追求します

1. 利用者満足：利用者の人権を尊重し、介護の質を高め納得と同意に基づく介護を提供します
2. 地域満足：それぞれの特性を發揮して、密な連携を図り、地域介護・福祉に貢献します
3. 職員満足：高い志を持って現場に臨み、日々業務を見直し、リスク管理のできる介護のプロとして研鑽とチャレンジを惜しみません

2. 今年度重点目標

登録者数 23 名維持、平均介護度 2.8 の達成

3. 令和5年度事業計画

基本方針／行動計画／具体化項目	成果物／目標
1. 安定的な運営を実施する	<u>常に周辺病院・居宅等に情報を発信し、待機案件を確保する</u> <u>登録時に介護度を意識し、介護度アップを心がける</u>
2. 利用者満足：利用者の人権を尊重し、介護の質を高め納得と同意に基づく介護を提供します	<u>スタッフの質的向上のため研修の実施、全体会議での意識統一を図る</u> <u>接遇研修の実施</u> <u>各種委員会による改善提案</u>
3. 地域満足：それぞれの特性を發揮して、密な連携を図り、地域介護・福祉に貢献します	<u>アーバンライフ二階町との連携を図り、地域に根ざした施設として貢献する</u> <u>コロナ禍にあっても可能な限り近隣と連携を図る</u>
4. 高い志を持って現場に臨み、日々業務を見直し、リスク管理のできる介護のプロとして研鑽とチャレンジを惜しみません	<u>自己目標作成および面談の実施</u> <u>時代のニーズに合わせた業務改善</u> <u>管理者を中心としたリスク管理</u> <u>徹底した感染予防自己管理</u> <u>ケア実施時の感染予防の徹底</u>

令和5年度事業計画 フィットネス&スパ CARVATA (カルヴァータ)

目 次

1. 理念、基本方針、行動規範
2. 今年度重点目標
3. 令和5年度事業計画

1. フィットネス&スパ CARVATA (カルヴァータ)

の理念、基本方針、行動規範

作成：平成26年 4月 1日

改定：令和 4年 4月 1日 (第2版)

直近見直し：令和 5年 4月 1日

理念

一人ひとりの健康で健やかな生活への貢献

基本方針

- ・ 地域に貢献する活動を推進する
- ・ 教育、人材育成に傾注する
- ・ 健全な経営に努める

行動規範

私たちは、利用者の満足、地域の満足、職員の満足を追求します

1. 利用者満足：利用者の人権を尊重し、提供する技術の質を高め納得と同意に基づく健康増進、疾病予防プログラムを提供します
2. 地域満足：地域の健康増進に寄与します
3. 職員満足：高い志を持って現場に臨み、日々業務を見直し、リスク管理のできるプロとして研鑽とチャレンジを惜しみません

2. 今年度重点目標

1. 会員数増
2. 疾病予防プログラム・サービスの提供
3. 新会員区分の運用開始

3. 令和5年度事業計画

1. 年度目標

		目標	実績		
		令和5年度	令和4年度(見込)	令和3年度	令和2年度
(1)	会員数	600人	520人	497人	539人
(2)	入会者数	200人	150人	108人	96人
(3)	退会者数	120人	120人	144人	252人
(4)	退会率	2.0%	2.0%	2.3%	3.4%
(5)	事業収益	60,000千円	52,700千円	52,575千円	40,936千円

2. 事業および行動計画

基本方針／行動計画	具体化項目	成果物／目標	
1. 安定的な運営を実施する。	①会員獲得	新聞折り込み (年2回) 春 施設、プログラム体験 冬 施設、プログラム体験	4月、5月入会者 60人 1月、2月入会者 50人
		<u>クラブセミナーの定期開催</u> <u>ネット告知、会員への継続告知</u>	<u>4月から毎月テーマごと開催</u> <u>毎回定員20名</u>
		付加価値プログラム、サービス強化 ① <u>メディカルプログラム</u> ・ <u>糖尿病教室(3か月)</u> ・ <u>痛み改善教室(3か月)</u> ・ <u>姿勢改善教室(3か月)</u> ② <u>パーソナルトレーニング</u> ・ <u>ウエイトトレーニング</u> ・ <u>ダイエット・栄養指導</u> ・ <u>ボディケア、メンテナンス等</u> ③ <u>クラブセミナー(毎月)</u> ・ <u>生活習慣病、痛み改善、栄養</u> <u>ストレス、睡眠等</u>	① <u>期間教室参加者数</u> ・ <u>各回 定員10名</u> ② <u>パーソナルトレーニング実施数</u> ・ <u>月間100本</u> ③ <u>クラブセミナー参加者数</u> ・ <u>各回 定員20名</u>
	②退会率減少	会員管理の仕組みづくり ・ <u>担当制の強化</u> ・ <u>会員動向、業績の共有、スタッフ垂</u> <u>間のコミュニケーション強化</u> ・ <u>未利用者の分析、仕組みづくり</u> <u>未利用者のABC分析、個別対応実践</u> ・ <u>健康情報、クラブ情報、会員情報の</u> <u>定期配信</u> 顧客満足向上イベントの開催 ・ <u>春 4月、5月周年記念イベント</u> ・ <u>夏 8月トレーニングイベント</u> ・ <u>秋 10月ハロウィンイベント</u> ・ <u>冬 12月 クリスマスイベント</u> 1月 正月太り解消イベント	退会率2.0%以下 <u>以下評価項目の前年比</u> ・ <u>クラブ未利用者</u> ・ <u>日次来館者数</u> ・ <u>問い合わせ数、見学者数</u>
③経費削減	<u>業務担当制の強化、効率化</u> ・ <u>面談による業務担当の明確化</u> ・ <u>数値報告(報告書)の徹底</u> ・ <u>クラブ責任者によるチェック強化</u> ・ <u>報・連・相の徹底</u> ・ <u>ムダの見える化</u> ・ <u>P D C Aサイクルの強化</u>	<u>管理費の減少(前年比)</u> ・ <u>人件費(シフト管理)</u> ・ <u>消耗品、雑費</u> ・ <u>水道光熱費</u>	
2. 利用者の人権を尊重し、提供する技術の質を高め納得と同意に基づく健康増進、疾病予防プログラムを提供します	① <u>メディカルフィットネス事業の創造</u>	病院との連携強化 ① <u>糖尿病改善システム展開</u> ・ <u>医師との連携</u> ・ <u>患者の紹介、処方箋の発行</u> ・ <u>運動実施後のフィードバック</u> ・ <u>教室企画、実施</u> ・ <u>3か月教室実施</u>	<u>教室参加者数獲得</u> ・ <u>各回10人名</u> <u>運動処方箋登録</u> ・ <u>年間30名</u>

		<u>クラブセミナーの定期開催</u> ・生活習慣病、痛み、ストレス、睡眠、 栄養等日常の健康に関する情報を提 供する。	<u>毎月1回 1回30分実施</u> ・ <u>毎回定員20名</u>
3. 地域満足：地域の健康増進に寄与します	①外部コミュニティーとの連液	<u>地域町内会、団体等への出張健康教室の企画</u>	出張健康教室の実施回数 年 <u>3回</u> 目標
4. 高い志を持って現場に臨み、日々業務を見直し、リスク管理のできるプロとして研鑽とチャレンジを惜しみません	①スタッフのスキルアップ	<u>スタッフ研修の企画、実施</u> ① <u>クラブ内資格制度の企画</u> ② <u>クラブスタッフ研修の項目</u> ・ <u>基礎理論、トレーニング実技</u> ・ <u>栄養、運動療法、ストレス</u> ・ <u>コミュニケーションスキル</u>	<u>スタッフ研修(6か月)</u> 年 <u>1回</u> 実施 <u>クラブ内講師の認定 5名</u>
		<u>スタッフの意識向上</u> ① <u>朝礼、昼礼、業務間引継ぎの定期化</u> ② <u>経営理念、行動指針の徹底</u> ・ <u>スタッフMTGの定期開催</u> ・ <u>個別面談の定期実施</u>	① <u>毎日営業前の朝礼実施</u> ② <u>定期面談 毎月1回実施</u>
	②リスク対策	感染対策を含め、事故の防止に努める	安全に関する研修会を実施
		災害対応を迅速に遂行できる	防災訓練の実施 マニュアルの改訂

令和5年度事業計画

法人本部

目 次

1. 法人本部 令和5年度事業計画

1. 法人本部 令和5年度事業計画

基本方針／行動計画／具体化項目	成果物／目標
1. 減免事業を実施し、生活困窮者に医療を提供する	<ul style="list-style-type: none"> ・ 津山中央病院 ・ 津山中央記念病院 ・ 津山中央クリニック ・ それぞれ全保険診療の10%以上
2. 奨学・育英事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 奨学金の貸与、回収を実施
3. 新規事業の検討、実施	<ul style="list-style-type: none"> ・ 老朽化した設備の更新工事 ・ 周産期センター（3F 病棟 今年度完成）の進捗推進、旧中央材料室の跡地利用、3F～6F 病棟などの改修工事、記念病院の改修工事の検討 ・ 医療インバウンド復活の準備
4. 拠点病院事業、補助事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 拠点病院事業の補助金申請 ・ 新型コロナ対策の補助金申請
5. コスト削減	<ul style="list-style-type: none"> ・ 医薬品、医材のコスト削減の取り組み（薬事委員会、医材委員会、VHJ 共同購入） ・ 物価高騰（食材、光熱費等）への対策（節約、支援金獲得）